



国民春闘共闘

2023年度 第9号
2023年3月7日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

23年春闘勝利！3・2中央総決起行動

全国から1800人が参加！
大幅賃上げ・底上げ実現の声を上げる

国民春闘共闘・全労連・東京春闘共闘は全国食健連とともに3月2日、23春闘最大の山場となる回答集中日・全国統一行動日に向けて、東京・霞ヶ関を中心に「23春闘勝利！3・2中央総決起行動」を展開。全国から1800人の仲間が結集し、日比谷野外音楽堂での総決起集会、国会請願デモ・国会議員要請行動にとりくみました。また、各単産・部会などによる宣伝行動、政府要請、省庁前要求行動、サウンドデモなど多彩な行動がとりくまれました。

中央総決起集会～ストライキを構え、物価高騰を超える賃上げ実現を



春の日差しがきらめく中、愛知の仲間が結成のバンド、ザ・ユニオンフラックスの演奏で幕を開けた日比谷野外音楽堂での中央総決起集会には全国から1800人の仲間が結集しました。

国民春闘共闘・小畑雅子代表幹事（全労連議長）は、「低賃金と物価高騰から生活まもれ。賃金上げろ！最低賃金全国一律実現！軍拡・増税ではなく、憲法いかし、社会保障の拡充を求める中央行動にふさわしく、昨日から、そして今日も早朝から要求行動が展開され、その熱気が会場いっぱい溢れている」と熱い思いがほとぼしる主催者あいさつを行いました。「23国民春闘は、8日の回答集中日、翌日の全国統一行動日と最大の山場に向けて正念場を迎えた」と力を込め、この間、物価高騰を乗り越える賃上げ・底上げなしには終われない春闘として産別・地域の統一行動に結集し、要求で仲間づくりを進める“たたかう労働組合のバージョンアップ”が職場・地域で実践され、物価高騰に見合った最低賃金再改定や公務員賃金の臨時勧告のとりくみをはじめなど、大幅賃上げ・底上げの世論を作り出してきたことを強調。「いよいよ春闘

前半のとりくみを結実させ、大幅賃上げ・底上げを実現させる時だ！大きなうねりを作り出していこう」と呼びかけました。そして、国会審議によって政府の進める大軍拡路線が、国民のいのち、暮らしを押しつぶし、日本が戦場になる危険性があることを、政府が十分認識していることが明らかになったと述べ、「大軍拡を許さないたたかいもここからが正念場だ。軍拡・増税ではなく憲法をいかし、社会保障の拡充を求める共同を広げよう」と訴えました。



集会には、全国労働組合連絡協議会（全労協）の渡辺博議長、日本共産党・田村智子参議院議員、れいわ新選組・大石あきこ衆議院議員が駆けつけ連帯のあいさつを行いました。

全労協の渡辺議長は、財界・大企業が賃上げの必要性を言いながら経営側に都合の良い主張を繰り返していることを痛烈に批判。「労働者の真価が問われる 23 春闘となる。スクラムを組んで頑張りぬいていこう」と連帯の意を示しました。

行動提起で国民春闘共闘・黒澤幸一事務局長（全労連事務局長）は、10%以上の賃上げ要求を掲げ、「うちは厳しい」「価格転嫁できない」といった言い訳には毅然として「企業の社会的責任」を追及し、使用者としての雇用責任と義務を果たさせるためにストライキを背景とした交渉を進め、納得いかない回答にはストライキを打ち抜き、物価高騰を上回る大幅賃上げ・底上げを実現させようと呼びかけました。

つづいて 4 組織の代表が決意表明。自治労連の石川敏明書記長は、沖縄公務公共一般では処遇改善と雇止め阻止を訴えるピラを沖縄本島の全市役所で門前配布、名古屋市職労では学習会や賃金交渉を展開しながら対話を進め区役所で 59 名、保育所で 49 名の会計年度任用職員が加入するなど、全国各地で会計年度任用職員の職を守る“誇りと怒りの 3T アクション”を展開して仲間を増やしながら要求実現に奮闘していることを紹介。国会で会計年度任用職員への勤勉手当の支給を可能とする法改正案が提出されたことや公募を止めるように訴え続けた結果、総務省に改善通知を出させ京都府八幡市で 600 人の公募をやめさせたことを報告し、「硬かった城壁について風穴を開けた。この成果を全国の会計年度任用職員に伝えたい」と力を込めました。



生協労連からはコープ宮崎労働組合の日高礼子執行委員長が「物価高騰への対応と人手不足の解消を訴えてきた。経営状態は良いはずなのに、先行きが不透明と大幅賃上げの回答を渋っている。職員が気持ちよく働き、元気で幸せでなければ経営は安定し、好転していかない」と述べ、九州各県の代表が「宮崎の最低賃金は 853 円。こげな安い給料じゃ、やっちゃられるか。どんげかせにやいかん」、「鹿児島の最低賃金は 853 円。こげんひっかどげんねか!」、「大分の最低賃金は 854 円。ど

んこんならん!」「福岡の最低賃金は 900 円。こんな最低賃金ではやっとならねばい!」「沖縄の最低賃金は 853 円。がっていならん!」「佐賀の最低賃金は 853 円。全国一律最賃にせんばいけんやろうもん!」「長崎の最低賃金は 853 円。なんばしよっと!」「熊本最低賃金は 853 円。うすとろか!」とお国言葉で怒りの叫びを行い、会場からは拍手が沸き上がりました。



東京医労連の松崎実和書記次長は、各組合でベースアップ要求署名や一言カード、物価高騰アンケートなど賃上げ要求への確信を高めるとりくみが進められたこと、全医労がストライキを構えることや昨年、50年ぶりのストライキでたたかった組合が、経営側を動かし、現場の仲間からも支持を得た経験から、今年はストライキ参加者を増やして臨んでいることを報告。東京医労連では3月9日に都庁前でのアピール行動、都への要請、新宿

でのアピール行動・デモ行進も配置して統一行動を展開していくと述べ、「世界では、医療・介護・福祉分野で大幅な賃上げが実施され、アメリカでは大規模デモが連日行われている。控えめに言って我慢の限界だ。一人でも多くの労働者と声を上げ、大幅賃上げを実現していく春闘にしていこう」とたたかう決意を示しました。

全国食健連を代表して決意表明に立った藤原麻子・農民連事務局長は、「生産費が農畜産物の販売価格を大幅に上回り農業経営が続けられない状況になっている。女性による女性のための相談会では、「シフトが入っていない日は動くとお腹がすくので家の中でじっと座っていて、口にするのは水だけ」といった悲痛な声が寄せられた。こんなに農民が苦勞し、国民が生活に苦しみ、食べたくても食べられない人々が増えたことがあったらどうか」と怒りを込めて発言。餌代が支払えずに離業する酪農家が急激に増える中、乳業メーカーは乳価の値上げを拒否し、政府は“牛を殺せ”の一点張りだったが、酪農家と消費者と一緒に「酪農畜産の火を消すな」と声を上げ、共同の輪が大きく広がることで政府を動かし始めていることを紹介。「戦争する国への暴走はやめて、賃金を上げろ！国民のいのちの糧である農業への施策の拡充を！食べられない人たちへの食糧支援制度をつくれ！の声を一緒に上げよう」と訴えました。

最後に、国民春闘共闘・矢吹義則代表幹事（東京春闘共闘代表）が閉会あいさつを行い、団結ガンバローを三唱して集会を締めくくりました。

国会行動～全国一律最低賃金署名 14万8130人分を提出

中央総決起集会、国会請願デモ行進の後、全国一律最低賃金実現、裁量労働制の拡大撤回、無期転換逃れの雇止め阻止を掲げて、署名提出、全国国会議員への要請行動を行いました。

衆議院第一議員会館で、会場いっぱいの300人を超える仲間が参加しました。参加者の代表が、会場に駆け付けた国会議員7人に署名を手渡しました。あいさつした各議員からは、全国一律制の意義や実現への決意表明がありました。（あいさついただいた議員は下記のとおり）



立憲民主党：末松義規議員、日本共産党：宮本徹議員、田村貴昭議員（以上、衆議院議員）

沖縄の風：伊波洋一議員、日本共産党：倉林明子議員、田村智子議員（以上、参議院議員）

全国一律最低賃金署名は2019年以降120人が紹介議員になっています。全国から集まった14万8130人分の署名は、全ての紹介議員を訪問して託しました。

主催者あいさつを行った国民春闘共闘・砂山太一代表幹事（全農協労連委員長）は、「全国どこでも最低生計費は変わらないことを明らかにしながら運動が前進し、国会内でも変化をついている。全国一律最低賃金制度への法改正を実現するために奮闘しよう」と訴えました。

全労連・秋山正臣副議長が議員要請について説明。全国一律最低賃金制度実現・最低賃金の大幅引き上げとともに中小企業支援策の抜本的な強化を求めること。また、経団連が立法措置

なしに解釈だけで裁量労働制の対象拡大を強行しようとしていることや3月末に多くの大学・研究機関で無期転換逃れの雇い止めが計画されており、それらの撤回を求めていくことを呼びかけました。

全国からの参加者の声



学校支援員として働く馬場宏さん
(自治労連・沖縄公務公共一般労組)
「任期が3月31日と迫っているが、募集も公募もなく4月からどうなるのか不安」
集会で声をあげるために沖縄県より参加
(写真の奥が馬場さん)。

「物価高でおかずを1品減らしたとか、暖房を20度以上にしないなど、みんな苦しい思いをしている。この春闘は絶対にベアが欲しい！」

生協ひろしまパート労働組合
田頭奈美枝さん
(写真の左、写真の右は名和さん)



「ストライキで今の現状をマスコミにアピールし、国立病院の現状を多くの国民に知ってほしい。一時金ではなく、ベースアップを求める！」
全医労天竜病院支部長・工藤実義さん
(写真左、右は鈴木邦政さん)

たたかう労働組合のバージョンアップ
低賃金と物価高騰から生活まもる
大幅賃上げ・底上げを
軍拡・増税でなく社会保障の充実を